レンジフードファン

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意 …… 2・3
使用上のお願い …… 4
使いかた …… 5～7
　各部のなまえ …… 5
　使用前の準備 …… 5
　スイッチ …… 6・7
お手入れのしかた …… 8～18
　取りはずしのしかた …… 9・10
　組み立てのしかた …… 10・11
　お手入れのしかた …… 12～16
　ファンのお手入れのしかた …… 14～16
　ランプ交換のしかた …… 17・18
故障かなと思ったら …… 19
仕様 …… 20
アフターサービス …… 20
修理を依頼されるときは …… 21

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

1302 6381

この説明書は再生紙を使用しています。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告：**人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

⚠ 注意：**人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告

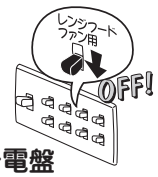
電源を切る

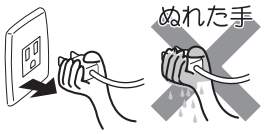
● **お手入れやランプ交換の際は、必ず運転停止スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで約３秒間押してスイッチを「ロック」するか、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフードファン用ブレーカを切ること**

完了後は再び運転停止スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約３秒間押して「ロック」を解除するか、電源プラグをコンセントに差し込む、または分電盤のブレーカを「入」にすること

また、ぬれた手で抜き差し、入／切しないこと

感電ややけどをすることがあります





分解・修理改造禁止

● **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと**

火災・感電・けがの原因となります

ほこりをとる

● **電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと**

火災の原因となります

水かけ禁止

● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**

ショート・感電のおそれがあります

操作禁止

● **ガス漏れのときは、スイッチを入／切しないこと**

爆発・引火のおそれがあります

使用禁止

● **交流 100 V以外では使用しないこと**

火災・感電の原因となります

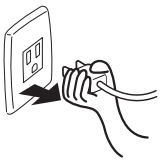
安全上のご注意

⚠注意

プラグを持って抜く

● **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと**

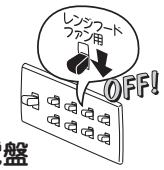
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります



プラグを抜く

● **長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること**

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

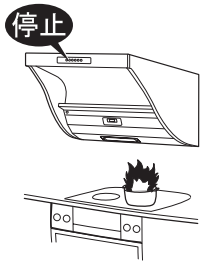


分電盤

運転停止

● **調理中、油に火がついたときは、運転を止めること**

運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です



取付注意

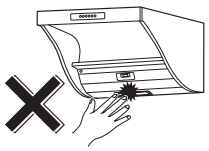
● **お手入れの際にはずした整流板や部品の取り付けは確実におこなうこと**

落下によりけがをするおそれがあります

接触禁止

● **運転中は指や物を絶対に入れないこと**

けがをするおそれがあります



接触禁止

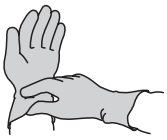
● **調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと**

整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります

手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



落下注意

● **整流板を本体から取りはずさずに、図のような状態でお手入れをしないこと**

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

使用禁止

● **本体に異常な振動が発生した場合、使用しないこと**

本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります

落下注意

● **部品を落とさないように両手でしっかりと支えること**

落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

使用禁止

● **指定以外のランプを使わないこと**

ランプカバー周辺が高温となり、やけどのおそれがあります

高温注意

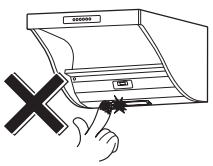
● **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**

やけどのおそれがあります

接触禁止

● **ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと**

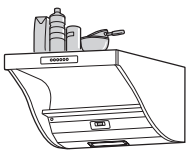
高温になるため、やけどをすることがあります



禁　止

● **レンジフードファンの上に物を置かないこと**

落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります

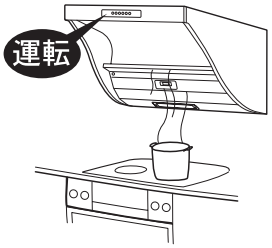


1302 6381

使用上のお願い

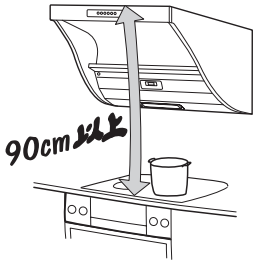
● **調理器具を使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください**

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります



● **製品の上端が調理器具の真上、90c m 以上に取り付けてあるか確認してください**

火災予防のため、火災予防条例ではグリスフィルターの下端が調理器具の真上、80cm 以上必要です



● **部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります**

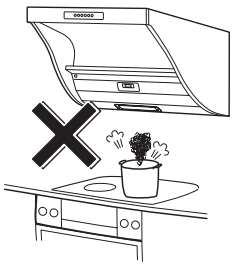
レンジフードファン近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

● **エアコンの風が直接あたらないようにしてください**

風を受けると、吸い込みが悪くなります
オープンな場所では特にレンジフードファンから漏れやすくなります

● **調理器具の空焚きは絶対にしないでください**

製品の損傷や高熱による故障の原因となります



● **グリル付の調理器具と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはランプカバー表面が結露することがあります**

この場合は拭き取って使用してください

● **キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードファンの表面が結露することがあります**

この場合は拭き取って使用してください

● **市販のグリスフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください**

吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります。性能を維持するため、純正の金属製グリスフィルター（スロットフィルタ）をご使用ください

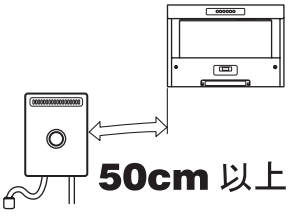
● **ＩＨクッキングヒーター（電気こんろ）を使用時、レンジフードファンがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります**

お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください

特に冬期など気温の低い状況では結露がしやすくなりますのでご注意ください

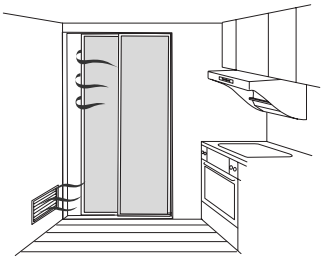
● **湯沸器はレンジフードファンから 50c m 以上離してください**
レンジフードファンの下部には湯沸器を絶対に取り付けないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因となります



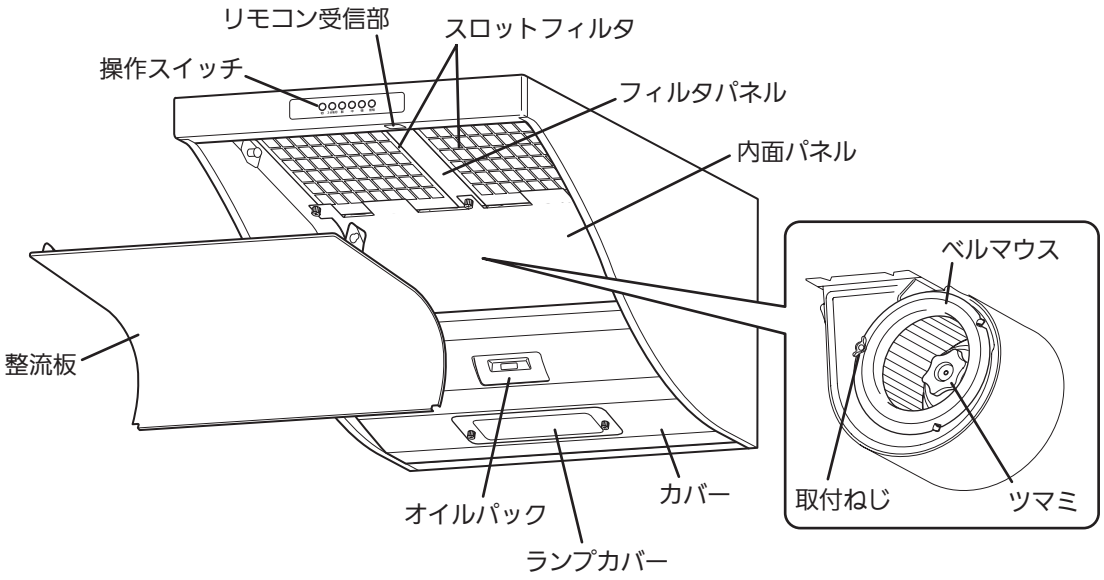
● **レンジフードファンの運転中は給気をおこなってください**

レンジフードファン反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します



使いかた

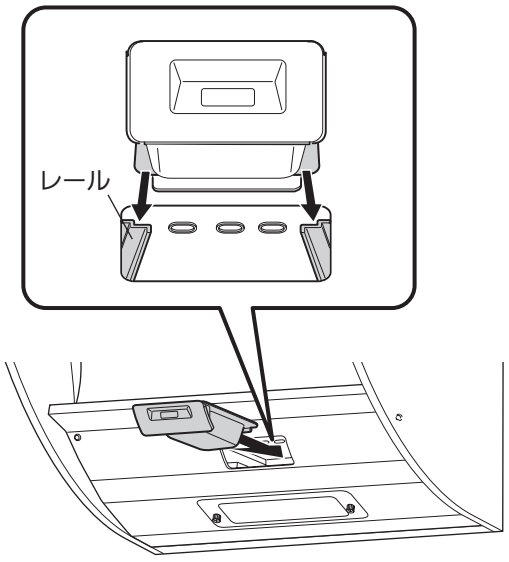
各部のなまえ



使用前の準備

● オイルパックが下図の所定位置に正しくセットされているか、確認してください。

※オイルパックが正しくセットされていないと、油が調理器具に流れ落ちます。

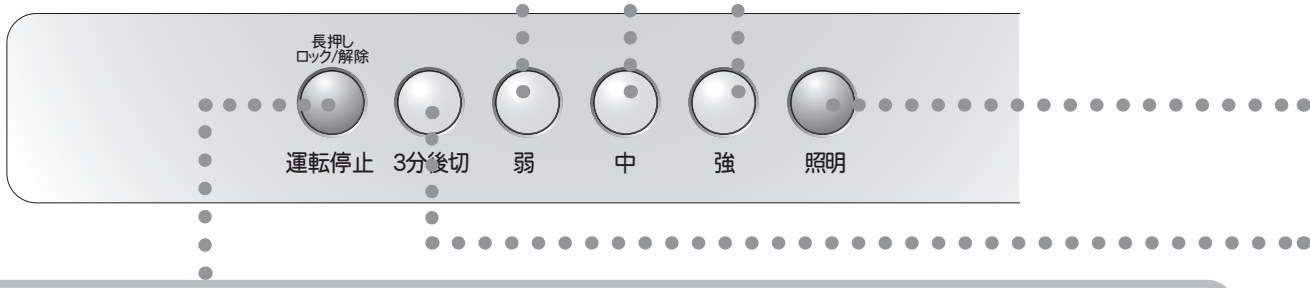


1302 6381

使いかた

スイッチ

※ レンジフードファンの操作には別売リモコンスイッチ
（品番：RMC-04）もご使用になれます。
（リモコンスイッチではスイッチのロック／ロック解除はできません）



運転停止スイッチ

長押し ロック/解除
運転停止

押すと直ちに運転を停止します。
※照明は消えません。照明 を押すと消えます。

スイッチの「ロック」（操作機能全てが「切」状態になります）
この操作は本体のお手入れや電球交換の際には必ずおこなってください。

●スイッチを「ロック」するには

長押し ロック/解除 運転停止 スイッチを約３秒間押し続ける
---「ピピッ」と音が鳴り、スイッチがロックされます。
--- ファンが停止し、照明が消灯します。
--- 3分後切 と 強 スイッチが交互に点滅します。

ロック状態で 長押し ロック/解除 運転停止 以外のスイッチを押すと…
---「ピピピ」と警告音が鳴り、弱 と 中 スイッチが点滅します。
--- ファン・照明は作動しません。
--- 別売リモコンスイッチの操作もできません。

●「ロック」を解除するには

「ピー」と音がするまで 長押し ロック/解除 運転停止 スイッチを約３秒間押し続ける
ロック解除後は、必要に応じて照明、運転・風量切替スイッチを再操作してください。

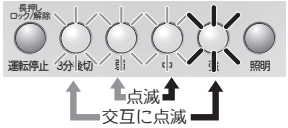
※ ロック操作は調理を終え、レンジフードファンが十分冷めた状態でおこなってください。
※ 停電した場合やブレーカを切った場合は、ロックは解除されます。

スイッチロック（解除）の方法

3秒以上押す

スイッチロック時の表示状態

スイッチロック時に「運転停止」以外のスイッチを押したときの表示状態



運転・風量切替スイッチ（弱・中・強）

弱　中　強

押したスイッチが点灯し、
運転します。

弱 **（弱）**：煙の少ないとき。
静かに運転したいとき。

中 **（中）**：通常の運転のとき。

強 **（強）**：煙の多いとき。
早く換気したいとき。

照明入／切スイッチ

照明

押すと照明が点灯します。スイッチを押すたびに点灯／消灯を繰り返します。

３分後切スイッチ

3分後切

通常、調理が終わった後は、3分後切 スイッチを押してください。スイッチが点滅しそのままの風量で約３分間運転し続け、自動的に運転を停止します。
３分間のタイマー運転により、調理の後のにおいやファンについた油汚れなどを落とします。

※タイマー運転が停止した後も照明は消えません。
照明 を押すと消えます。

切り忘れ防止タイマー

このレンジフードファンは、最後に操作したときから約５時間運転し続けると自動的に運転を停止し、照明を消灯します。

再び運転するときは、弱 中 強 いずれかのスイッチを押してください。

レンジフードファン連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合

●連動調理器具を着火すると、自動的にレンジフードファンは「中」運転をおこないます。
この状態からレンジフードファンのスイッチ（運転停止・３分後切・風量切替・照明）操作がおこなえます。

●調理器具を消火すると、レンジフードファンはそのままの風量で３分間運転を続け、自動的に運転を停止します。照明はもとのままの状態です。

●レンジフードファンの風量調節および照明の入／切などの操作を調理器具前面の操作パネルでもおこなえます。（詳細については調理器具の取扱説明書をご覧ください。）

※専用調理器具については弊社までお問い合わせください。

1302 6381

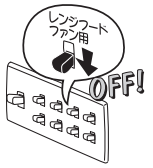
お手入れのしかた

⚠警告

電源を切る

- **お手入れやランプ交換の際は、必ず運転停止スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで約３秒間押してスイッチを「ロック」するか、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフードファン用ブレーカを切ること**
  完了後は再び運転停止スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約３秒間押して「ロック」を解除するか､電源プラグをコンセントに差し込む､または分電盤のブレーカを「入」にすること
- **ぬれた手でスイッチを入／切しないこと**
  感電ややけどをすることがあります
- **調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと**

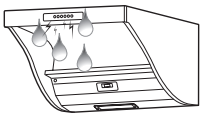
３秒以上押す



分電盤

水かけ禁止

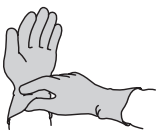
- **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
  ショート・感電のおそれがあります



⚠注意

手袋をする

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- **お手入れの際にはずした整流板や部品の取り付けは確実におこなうこと**
  落下によりけがをするおそれがあります

お手入れの際のお願い

- **おそうじはこまめにする**
  - 油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
  - 特にスロットフィルタは汚れやすいので、１ヶ月に１度程度の頻度でおそうじしてください。早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。
- **中性洗剤を使う**
  - おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズがついたり、はがれたりするおそれがあります。
    汚れがひどく、アルカリ性合成洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。

    レンジフードファンの油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ合成洗剤「サットレールスプレー」､「サットレールシート」があります。
    お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

- **熱湯は変形のもと**
  - ６０℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。
- **専用のスロットフィルタ（製品にあらかじめセットしてあるもの）を使う、他のフィルターを重ねない**
  - 専用のスロットフィルタ以外のフィルターを使用したり、他のフィルターを重ねたりすると、通気抵抗が大きくなり、吸い込み不良や異音発生、故障などの原因になるおそれがあります。

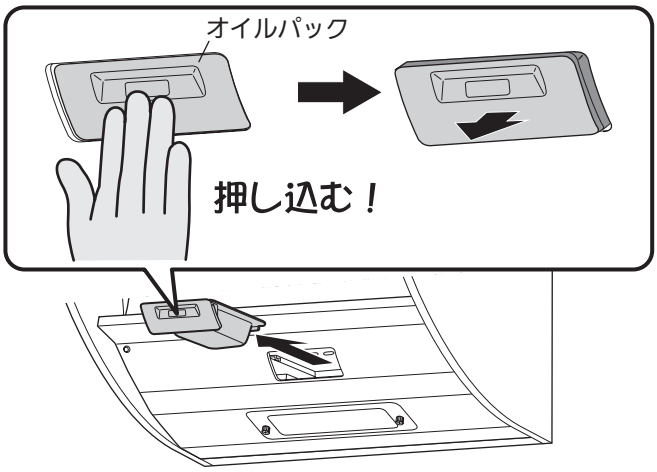
お手入れのしかた

取りはずしのしかた

1 **オイルパックをはずします。**

オイルパックの前面を押し込むと、少し手前に出てきます。
両端を持ってゆっくり手前に引き出します。

※　油をこぼさないようにご注意ください。

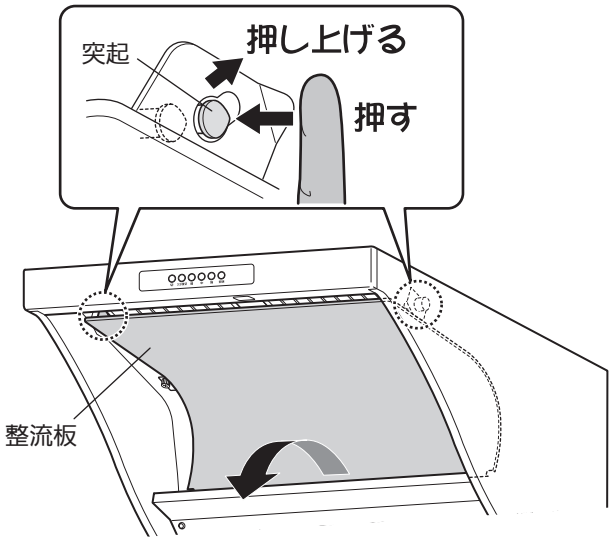


お願い

●ご使用の状況により油がたまらないことがありますが、異常ではありません。

2 **整流板をはずします。**

整流板の左右を両手で支え、押し上げながら上部両角の突起を押し込み、手前にゆっくりと倒しながら取りはずします。



お願い

●取りはずしの際は、整流板に油がたまっている場合がありますので、油ダレに十分ご注意ください。

⚠注意

落下注意

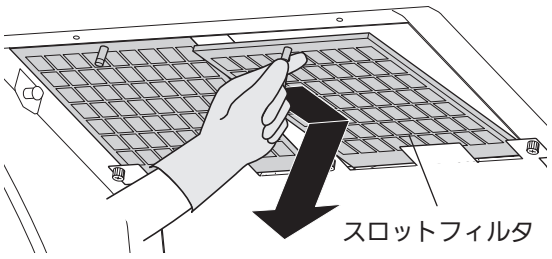
- **整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること**
- **整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと**
  落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

お手入れのしかた

3 スロットフィルタおよびフィルタパネルをはずします。

●スロットフィルタのはずしかた

スロットフィルタのとってを持ち、少し押し込んでから手前にさげると取りはずせます。

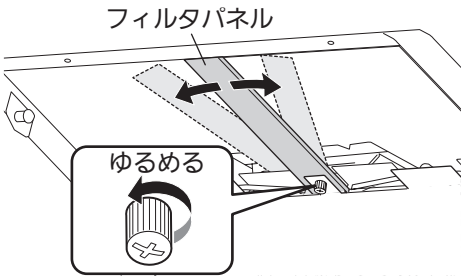


お願い

●スロットフィルタをはずす際は、必ず手を添えてください。添えないと手前に落下し、けがをするおそれがあります。

●フィルタパネルのはずしかた

フィルタパネルを固定しているねじをゆるめ、左右いずれかにずらして取りはずします。



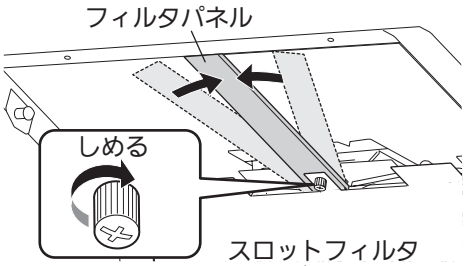
お願い

●通常のお手入れの際はフィルタパネルをはずさず、本体のお手入れと同様に汚れをふきとってください（13 ページ参照）。

組み立てのしかた

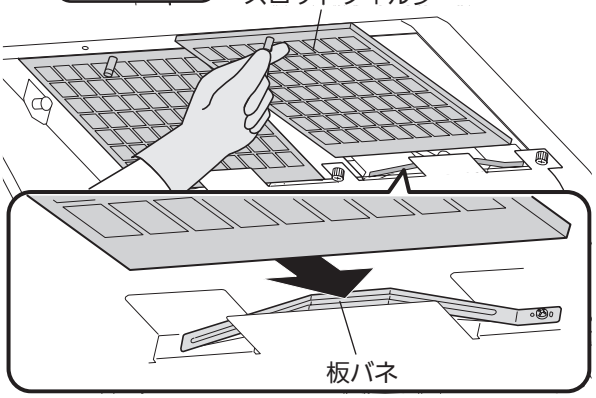
1 フィルタパネルを取り付けます。

フィルタパネルを図のように傾けてフード取付部に入れ、ねじでしっかりと固定します。



2 スロットフィルタを取り付けます。

スロットフィルタを本体の板バネに押し付けながら取り付けます。



お手入れのしかた

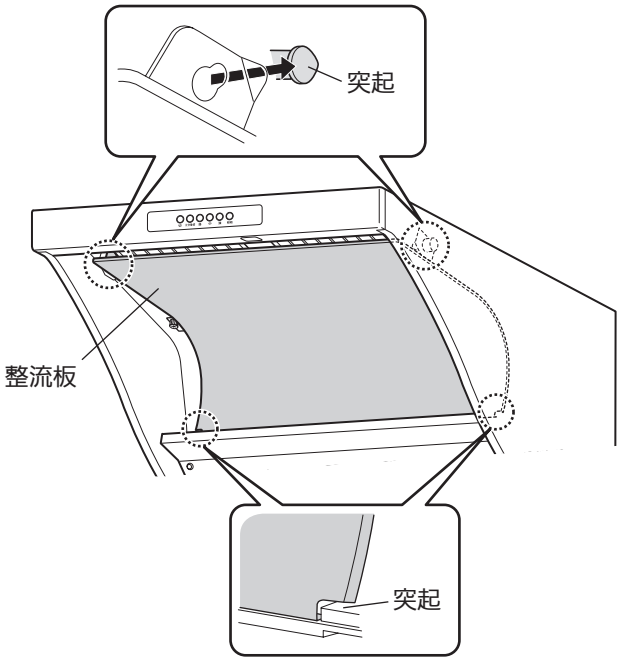
3 整流板を取り付けます。

1）整流板の左右を両手で持ち、下側から取り付けます。

※ 整流板の下端が本体側の突起より手前になるようにします。

2）本体上部両角の突起により確実に固定されるまで整流板を押し上げます。

3）整流板を軽く上下に動かしてみて確実に取り付けられたことを確認してください。

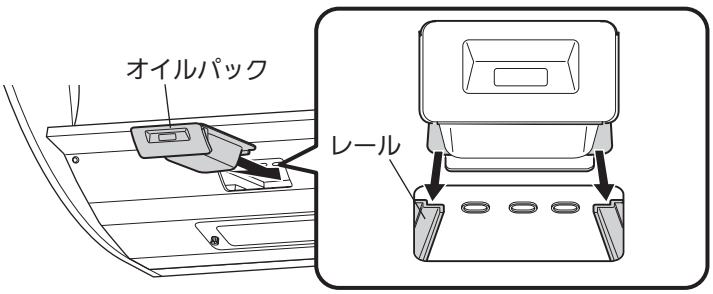


お願い

●整流板の固定は、確実におこなってください。
ロックが不十分ですと落下の原因になります。

4 オイルパックを取り付けます。

オイルパックを本体のレールに乗せ、前面を奥まで押し込み、手を離すと定位置に戻ります。



お手入れのしかた

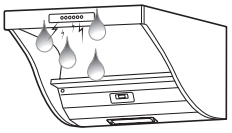
お手入れのしかた

取りはずしのしかた、組み立てのしかたは、9～11 ページをご参照ください。

⚠ 警告

水かけ禁止

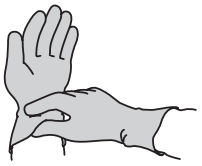
● **電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと**
ショート・感電のおそれがあります



⚠ 注意

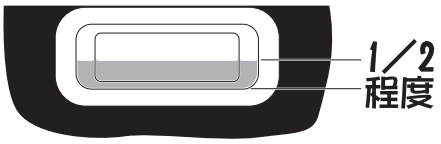
手袋をする

● **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



こまめにおそうじしてください。
特にスロットフィルタおよびフィルタパネルは汚れやすいので、１ヶ月に１度程度の頻度でおそうじしてください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

また、オイルパックは前面の窓から油のたまり具合が確認できますので、窓から見て1/2 位たまったら、オイルパックを引き出して油を捨ててください。
ご使用の状況により油がたまらないことがありますが、異常ではありません。



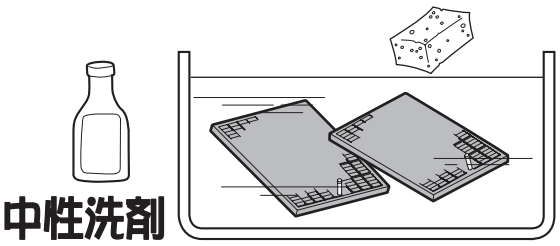
送風機についた油はオイルパックにたまりますが、油料理の頻度が少ない場合には、油はほとんどたまりません。

お手入れのしかた

■ スロットフィルタ

（汚れたらその都度お手入れしてください。　目安：１ヶ月に１回程度）

中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち、表面の
やわらかい布やスポンジなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、
水気をとってから取り付けてください。



お願い

●スロットフィルタはこまめにおそうじしてください。
　目詰まりを放置すると、換気不良や異音・振動の原因となります。

■ 本体・整流板・フィルタパネル・オイルパック

（汚れたらその都度お手入れしてください。　目安：１ヶ月に１回程度）

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、
清水で湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。
特に下端部は汚れが付きやすいのでこまめにふきとってください。

お願い

●はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。
　（変形・キズの原因となります。）

※完了後は再び 長押し ロック/解除 運転停止 スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約３秒間押して「ロック」を解除してください。
　またブレーカを「切」にした場合は、ブレーカを「入」に、電源プラグを抜いた場合は電源プラグをコンセントに差し込んでください。

お手入れのしかた

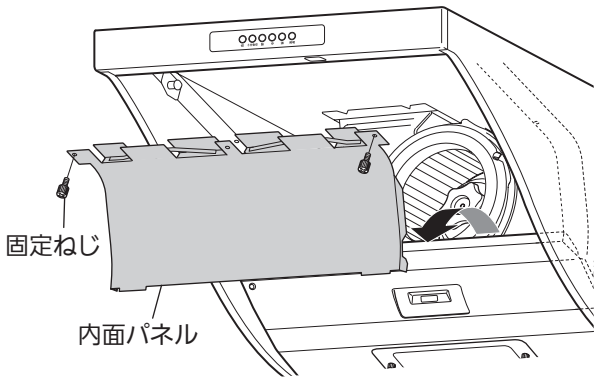
ファンのお手入れのしかた

レンジフードを長期にお使いになり、汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順でお手入れを行ってください。

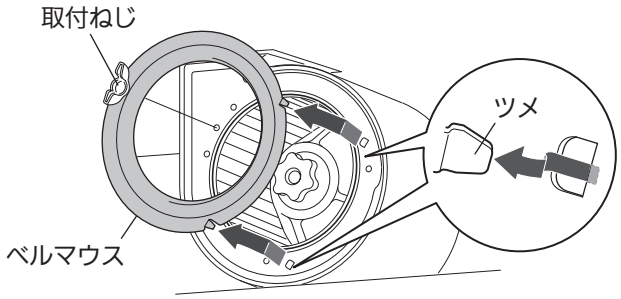
■ ファンのはずしかた

1 **整流板・スロットフィルタ・フィルタパネルをはずします。**
（9、10 ページの「取りはずしのしかた」をご参照ください。）

2 **内面パネルをはずします。**
２ヶ所の固定ねじをはずして内面パネルを取りはずします。



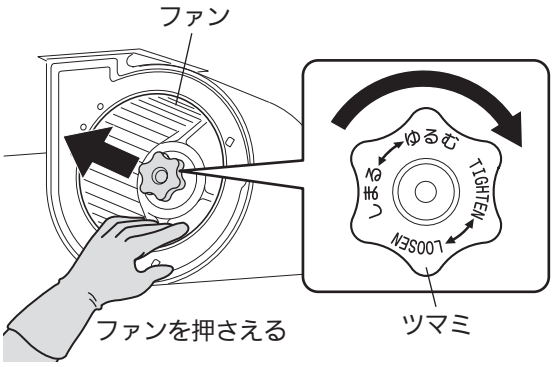
3 **ベルマウスをはずします。**
ベルマウスの取付ねじ１ヶ所を手で緩め、右側２ヶ所のツメからスライドさせてベルマウスをはずします。



お手入れのしかた

4 ファンをはずします。

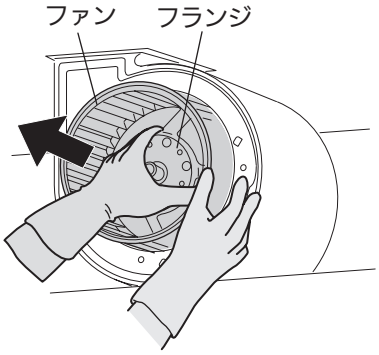
1）ファンが回らないように軽く押さえながら、ツマミを「ゆるむ」の方向に回してはずします。



お願い

●強く押さえるとファンが変形することがありますのでご注意ください。

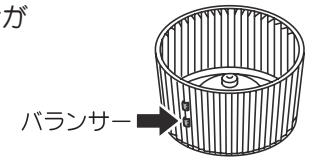
2）ファンの中央にあるフランジを持ち、少し手前に引き出したあと、両手で持ちかえてファンを引き出します。



お願い

●ファンを強く押さえたり、ぶつけたり、落としたりして変形させないでください。
（異常な音や振動の原因となります。）

●ファンの回転バランスをとるために、バランサー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。
（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。）
※ バランサーを紛失した場合は、新しいファンに交換してください。



■ ファンの洗いかた

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

1302 6381

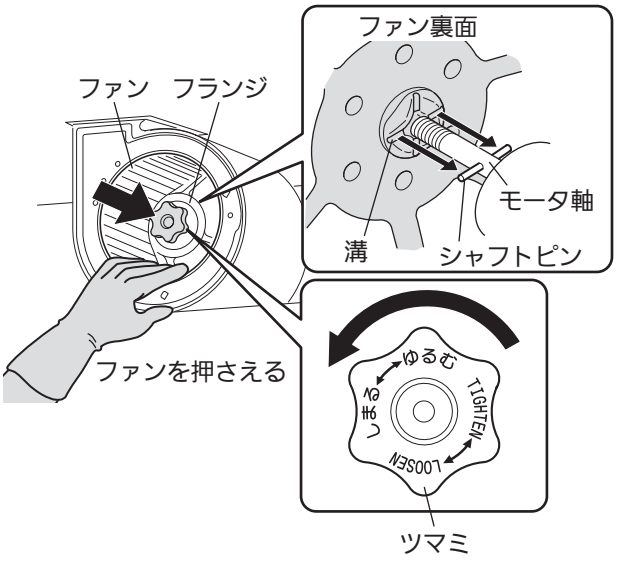
お手入れのしかた

■ ファンの取り付けかた

1 **ファンを取り付けます。**

1）本体開口部からファンを入れ、フランジ中央部の穴にモータ回転軸を通し、フランジを確実に奥まで差し込みます。

2）ファンが回らないように軽く手で押さえながら、ツマミを「しまる」の方向に回して締め付けます。

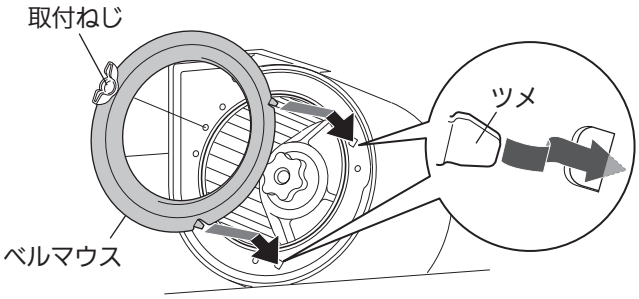


お願い

- ファン裏面の溝がシャフトピンに合っていないと異常音や落下の原因となります。
- 強く押さえるとファンが変形することがありますのでご注意ください。

2 **ベルマウスを取り付けます。**

ベルマウスのツメ２ヶ所を穴に差し込み、取付ねじ１ヶ所を締め付けます。

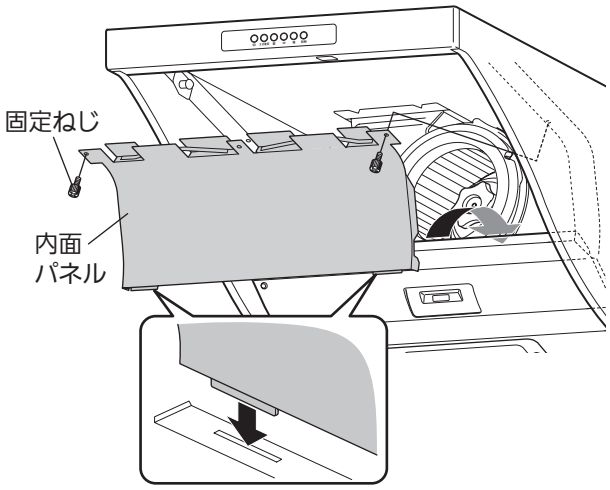


お願い

- ファンを手で回してこすれ音などが無いことを確認してください。

3 **内面パネルを取り付けます。**

内面パネル下部のツメ２ヶ所を差し込み、固定ねじで２ヶ所を締め付けます。



4 **整流板・スロットフィルタ・フィルタパネルを取り付けます。**

（10、11 ページの「組み立てのしかた」をご参照ください。）

※完了後は再び 長押し ロック/解除 運転停止 スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約３秒間押して「ロック」を解除してください。またブレーカを「切」にした場合は、ブレーカを「入」に、電源プラグを抜いた場合は電源プラグをコンセントに差し込んでください。

お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、下記の市販のミニ電球または電球形蛍光灯を購入し、交換してください。

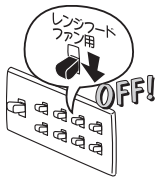
- ミニ電球　　定格１００Ｖ　４０W形　口金Ｅ１７
- 電球形蛍光灯　定格１００Ｖ　電球４０W形　口金Ｅ１７
  形名ＥＦＤ１０Ｅ形（取り付け可能寸法：長さ９１mm以下、直径４５mm以下）

⚠警告

電源を切る

- **ランプ交換の際は、必ず運転停止スイッチを「ピピッ」と音が鳴るまで約３秒間押してスイッチを「ロック」するか、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフードファン用ブレーカを切ること**
  完了後は再び運転停止スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約３秒間押して「ロック」を解除するか、電源プラグをコンセントに差し込む、または分電盤のブレーカを「入」にすること
- **ぬれた手でスイッチを入／切しないこと**
  感電ややけどをすることがあります
- **調理器具を使用中には絶対にお手入れはしないこと**

３秒以上押す



分電盤

⚠注意

使用禁止

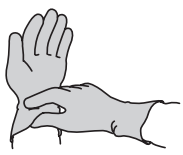
- **指定以外のランプを使わないこと**
  ランプカバー周辺が高温となり、故障や、やけどのおそれがあります

高温注意

- **ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなうこと**
  やけどのおそれがあります

手袋をする

- **お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること**
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

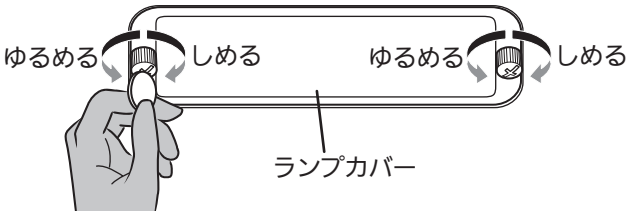


1302 6381

お手入れのしかた

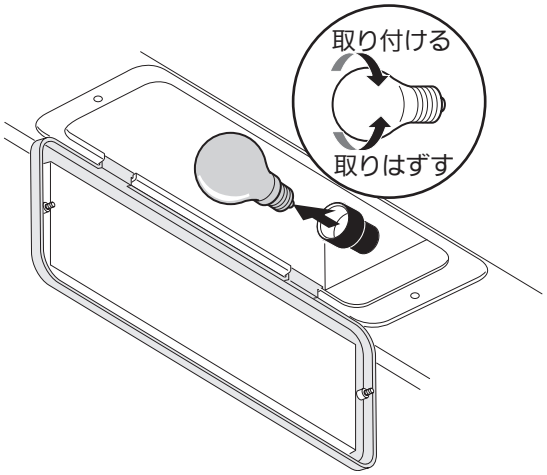
1 **ランプカバーを開きます。**

２本のランプカバー取付ねじをゆるめ、ランプカバーを開けます。



2 **ランプを交換します。**

切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。



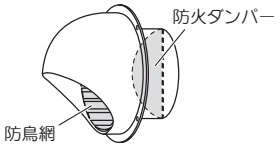
3 **ランプカバーを取り付けます。**

２本の取付ねじを締め付けてランプカバーを固定します。

※完了後は再び 長押し ロック/解除 運転停止 スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約３秒間押して「ロック」を解除してください。
またブレーカを「切」にした場合は、ブレーカを「入」に、電源プラグを抜いた場合は電源プラグをコンセントに差し込んでください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに　次の点をもう1度お調べください。

症　状	考えられる原因	処　置
● スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ● ファンがまわらない。	● 分電盤のブレーカが「切」になっている。 ● ロック状態になっている。 ● 電源プラグがはずれている。	● 分電盤のブレーカを「入」にする。 ● ロックを解除する。（6ページ参照） ● 電源プラグを差し込む。
● 照明がつかない。	● ランプが切れている。 ● ランプの取り付けがゆるんでいる。	● ランプを交換する。 ● ランプを取り付け直す。（18ページ参照）
● 異音がする。	● ファンのツマミがゆるんでいる。 ● ファンの取り付けが不十分。 ● ベルマウスの取付ねじがゆるんでいる。 ● スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。	● ファンのツマミを締め直す。 ● ファンを取り付け直す。（14～16ページ参照） ● ベルマウスの取付ねじを締め直す。（16ページ参照） ● スロットフィルタをそうじする。（13ページ参照） ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
● 吸い込みが悪い。	● 市販のグリスフィルターを重ねている。 ● スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。 ● 外からの給気が十分でない。 ● エアコンや窓からの風があたっている。 ● 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。 ● 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。  	● 市販のグリスフィルターをはずす。 ● スロットフィルタをそうじする。（13ページ参照） ● 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。 ● 風があたらないようにする。 ● 修理を依頼する。 ● 修理を依頼する。
● オイルパックに油がたまらない。	● 油料理の頻度や気候により油のたまり具合が異なるため。 ● 本体や整流板などに油がついている。	● オイルパックに油がたまってから捨てる。（12ページ参照） ● 本体や整流板についた油はその都度ふきとる。（13ページ参照）
● リモコンスイッチを操作しても動作しない。（別売リモコンを使用している場合）	● 電池が消耗している。 ● 電池の向きが間違っている。 ● リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ● ロック状態になっている。（ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。）	● 電池を交換する。 ● 電池を正しく入れる。 ● 発信部・受信部をそうじする。 ● ロックを解除する。（6ページ参照）

1302 6381

仕 様

型　名	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m^3/h)		騒音 (dB)	製品質量 (kg)
					0 Pa	100 Pa		
EFR-3R-601	100	強	50	105	555	465	49	18.5
			60	115	500	455	46	
		中	50	65	365	—	39	
			60	66	310	—	36	
		弱	50	25	150	—	21	
			60	24	135	—	20	

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。
騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。
レンジフードファンに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

●当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後６年間保有しています。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において１年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1)　火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2)　使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

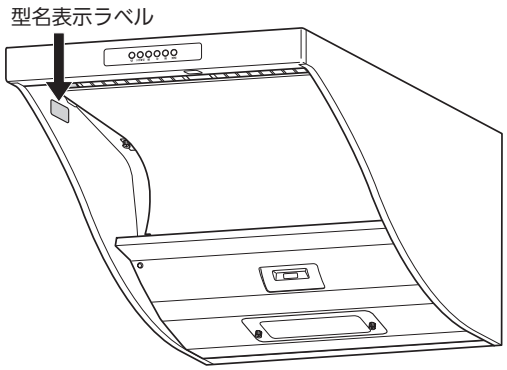
修理を依頼されるときは

19 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品　名	レンジフードファン
型　名	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくとサービスを依頼されるときに便利です。

レンジフードファンの型名は、本体内側の左前方に表示してあります。



愛情点検

★長年ご使用の製品の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	● スイッチを入れても、動かないときがある。 ● 運転中に異常な音や振動がある。 ● 焦げ臭いにおいがする。 ● その他、異常・故障がある。	**ご使用中　止**	このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

1302 6381

メモ

メモ

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-2 より引用

環境条件	電圧	単相　100V	
	周波数	50Hz 又は／及び60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603参照
	湿度	65%	JIS C 9603参照
	設置条件	標準設置	取付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間a) 台所　2 410時間／年	
注a)	常時換気（24時間連続換気）のものは、8 760時間／年とする。		

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1．当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2．当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3．お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店、またはシステムキッチンメーカーにご連絡ください。

お客様メモ

購 入 店 名	**電 話**　（　　）
（システムキッチンメーカー名：	）
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』のお取り扱い窓口は
フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ　0120−227−266
ＦＡＸ　042−768−3383
ホームページ　http://www.fuji-tech.jp/
受付時間 9:00 ～17:45（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）

〔製造元〕 富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１－９

お客様ご相談窓口　0120−071−686
受付時間 9：００～18:00（土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く）